テキストデータの作り方について②

②ではWordおよびテキスト形式(プレーンテキスト)での入稿について説明します。

■Wordでの入稿

組版をInDesignで行うのであれば、InDesignのバー ジョンにかかわらず、Wordで作成したテキストの入 稿が望ましいです。

InDesignではWordのスタイルやルビ、下線などを 取り込めるため、Word上であらかじめルビ、下線、 上付き文字、下付き文字といった設定しておくと、 InDesignへの流し込みの際に大幅な効率化が図れるよ うになります(詳しくはMeisho-do Creative Report Vol.1参照)。

Wordのスタイルがよくわからないという場合は、

文字カラーで区別をつけるという方法もあります。例 えば、「赤→太字」、「青→下線」、「紫→太字+下線」、「緑 →上付き文字」というようにルールを決め、Word上 で色を付けていきます。これをInDesignで取り込み、 文字カラーで検索をかけ、それぞれに正しいスタイル を適用していきます。この方法を使う際に気を付けな ければいけないのは、必ず「フォントの色」で色をつ けるということです。Wordには「蛍光ペン」という 機能がありますが、InDesignには「蛍光ペン」を再現 する機能がないため、取り込んだときに「蛍光ペン」 の情報が全て破棄されてしまいます。



| 110 | アメンボ赤いな あいうえお*1 |
|-----|---|
| | 補の未業の未 かきくけこ |
| - | **** 笹下に巣をかけ さしすせそ |
| | ^を 立ちましょ <u>ラッパ</u> で たちつてと *2 |
| | ナメクジのろのろ なにぬねの |
| | はとぼっぽ ほろほろ はひふへほ |
| | まいまい <u>ネジ</u> 巻き まみむめも |
| | 焼き栗茹で栗 やいゆえよ |
| | ^{かいけ まし} 雷鳥は寒かろ らりるれろ * ³ |
| 2. | わいわいわっしょい わいうえを |

) .m.4 D rees

Qo.

94



Meisho-do Creative Report Vol.5

■テキスト(プレーンテキスト)での入稿

プレーンテキストでの入稿の場合には、目印となる マークを入れていただくことで、Wordの場合とは違っ た方法がとれます。

前ページの文章を例にすると、太字にしたい文字の 前に☆、後ろに★をつけます。同様に下線を引きたい 文字の前に◇、後ろに◆、上付き文字にしたい文字の 前に○、後ろに●というように目印をつけていきます。 ルビを入れたい場合は、「#赤#あか#」のように、親 文字とルビをそれぞれ#で区切ります。

わいわいわっしょい わいうえを

テキスト

注意点としては、①★~★、●~●のように同じ記 号で囲まないこと、②テキスト中で使用される記号を 使わないことです。

加工する文字の前の記号を「開始タグ」に、後ろを 「終了タグ」に変換するため、①のように同じ記号で 囲まれると文字の前後が同じタグになってしまい、 InDesignでうまく取り込めません。

②はタグ変換の際に、必要な文字までタグに変換さ れてしまうからで、これは文字飛びの原因になります。

全体が円滑に進み、コスト削減になり、より良い品質

のものを作り上げることにつながると当社では考えて

記号を入れる ③ アメンボ.txt $\Theta \Theta \Theta$ 🕝 アメンボ.txt \bigcirc \bigcirc ◇アメンボ◆#赤#あか#いな ☆あいうえお★○*1● Δ Δ アメンボ赤いな あいうえお*1 2 #柿#かき#の#木#き##栗#くり#の#木#き# ☆かきくけこ★ 2 柿の木栗の木 かきくけこ #笹#ささ##下#げ#に#巣#す#をかけ ☆さしすせそ★ #立#た#ちましょ◇ラッパ◆で ☆たちつてと★○*2● 笹下に巣をかけ さしすせそ ◇ナメクジ◆のろのろ ☆なにぬねの★ 立ちましょラッパで たちつてと*2 はとぼっぽ ほろほろ ☆はひふへほ★ ナメクジのろのろ なにぬねの まいまい◇ネジ◆#巻#ま#き ☆まみむめも★ #焼#や#き#栗#ぐり##茹#ゆ#で#栗#ぐり# ☆やいゆえよ★ はとぽっぽ ほろほろ はひふへほ #雷#らい##鳥#ちょう#は#寒#さむ#かろ ☆らりるれろ★○*3● まいまいネジ巻き まみむめも わいわいわっしょい ☆わいうえを★ 焼き栗茹で栗 やいゆえよ 雷鳥は寒かろ らりるれる*3 わいわいわっしょい わいうえを 記号をタグに変換 タグ入りテキストが完成 00 検索 アメンボ.txt \bigcirc <S.IIS-MAC> 検索/置換 複数一括置換 <vsn:3.000000><fset:InDesign-Japanese><pstyle:> 検索文字列 置換文字 読込み <cstyle:下線>アメンボ<cstyle:><cr:1><crstr:あか>赤<cr:><crstr:>いな <cstyle:太字 1 1 <cstyle:太字> >あいうえお<cstyle:><cstyle:上付>*1<cstyle:> 保存 2 <cstyle:下線> <cr:1><crstr:かき>柿<cr:><crstr:>の<cr:1><crstr:き>木<cr:><crstr:><cr:1><crstr:くり 3 <cstyle:上付> クリア >栗<cr:><crstr:>の<cr:1><crstr:き>木<cr:><crstr:> <cstyle:太字>かきくけこ 4 * <cstyle:> <cstyle:> + -<cstyle:> <cr:1><crstr:ささ>笹<cr:><crstr:が>下<cr:><crstr:が>下<cr:><crstr:>に<cr:1><crstr:す> 6 <cstyle:> 巣<cr:><crstr:>をかけ <cstyle:太字>さしすせそ<cstyle:> ¥#(,*?)¥#(,*?)¥# <cr:1><crstr:¥2>¥1<cr:><crst 置換 <SJIS-MAC>¥n<vsn:3.000000> 8 D <cr:1><crstr:た>立<cr:>ちましょ<cstvle:下線>ラッパ<cstvle:>で <cstvle:太 字>たちつてと<cstyle:><cstyle:上付>*2<cstyle:> <cstyle:下線>ナメクジ<cstyle:>のろのろ <cstyle:太字>なにぬねの<cstyle:> はとぼっぽ ほろほろ <cstyle:太字>はひふへほ<cstyle:> InDesignで取り込む まいまい<cstyle:下線>ネジ<cstyle:><cr:1><crstr:ま>巻<cr:><crstr:>き <cstyle:太字 まみむめも<cstyle:> が アメンボ赤いな **あいうえお***1 <cr:1><crstr:や>焼<cr:>crstr:>き<cr:1><crstr:ぐり>栗<cr:><crstr:>crstr:や> 茹<cr:><crstr:>で<cr:1><crstr:ぐり>栗<cr:><crstr:> <cstyle:太字>やいゆえよ 柿の木栗の木 かきくけこ <cstyle:> <cr:l>cr:l>crstr:らい>雷<cr:>crstr:>cr:l>crstr:ちょう>島<cr:>crstr:>は<cr:l>crstr: 韃下に巣をかけ さしすせそ さむ>寒<cr:><crstr:>かろ <cstyle:太字>らりるれろ<cstyle:><cstyle:上付>* 3<cstyle> わいわいわっしょい <cstyle:太字>わいうえを<cstyle:> 立ちましょラッパで たちつてと*2 ナメクジのろのろ なにぬねの はとぼっぽ ほろほろ はひふへほ テキストを入稿する際に、作業の内容や、使用する まいまいネジ巻き まみむめも アプリケーションを理解したうえで、最適なデータ形 焼き栗茹で栗 やいゆえよ 式を選択する。そうすることによって、ワークフロー 電島は寒かろ らりるれる*3

います。